

藤浪駅前広場改修計画

1. 改修に向けた基本的な考え方

(1) 計画の目的

名鉄藤浪駅は、平成29年度まで3,000人/日を下回る乗降客数であったが、清林館高校の駅近隣への移転や南河田工業団地の立地企業が相次いで操業を開始することから、今後、藤浪駅の利用者数の増加が予想される。

一方、平成15年度に整備された駅前広場では、各所で不具合が生じており、とりわけ水景施設は老朽化により、令和元年度から運転休止となっている。

本計画は、駅前広場における課題を解消し、市の玄関口である駅前の賑わい創出を目的とする。なお愛西市活性化プロジェクト（官学連携事業）における駅前広場の将来像に対する要望、意見等を踏まえながら駅前広場改修を検討する。

(2) 基本理念

通常には憩い・賑わいの拠点、災害時には安全を守る防災拠点を目指す

(3) コンセプト

市の玄関口として賑わいのある安心・安全に対応する空間づくり

(4) 基本方針

市民の安全を守る防災拠点

地域の防災拠点としても機能する防災に対応する広場を目指す。

賑わい空間の創出

広場空間を活かし、様々なイベントの開催を行う賑わい空間の演出。

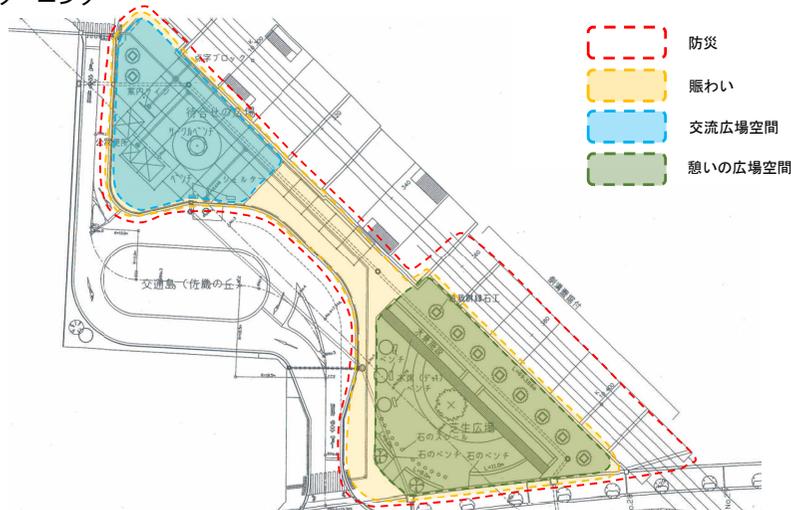
幅広い世代の交流の場

市民の誰もが楽しめるような環境を創出し、多世代の人々が集い、交流できる駅前広場を目指す。

広場空間による憩いの空間

広場の広がりを感じられる、地域住民や駅利用者の憩いの空間を目指す。

(5) ゾーニング



2. 整備方針

(1) 愛西市活性化プロジェクト（官学連携事業）の意見

整備面では、街灯ソーラーパネルの設置やキッチンカーが乗り入れられる舗装空間、ミストシャワー等の設置が挙げられ、使用面では、朝市の開催やキッチンカーの出店などが挙げられた。以上の意見を踏まえ整備方針を検討する。



(2) 整備方針

基本方針	整備方針
市民の安全を守る 防災拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救援活動や物資供給など、諸活動を行うためのオープンスペースの確保 ・ 避難活動や復旧・救援活動に備えた設備の設置 ・ 災害等に対応した施設の設置
賑わい空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ キッチンカー等の進入可能な動線の確保 ・ 様々なイベントに対応できる広場やオープンスペースの確保 ・ 維持管理のしやすい空間へ再整備
幅広い世代の交流の場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供連れや高齢者など、誰もが安心して利用できるバリアフリー空間 ・ いつでも誰でも利用できる空間施設づくり ・ 駅が活動の起点になるような空間づくり
広場空間による 憩いの空間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存施設と連動一体となった空間の創出 ・ 舗装空間の広がりを感じられる施設の整備 ・ 多様な使い方が出来る休憩施設の整備

3. 概算事業費及びスケジュール（案）

(1) 概算事業費

概算事業費		230,000,000円
財源内訳	合併特例債	218,500,000円
	一般財源	11,500,000円

※実施設計の進捗により変更する場合があります。

(2) スケジュール

令和5年度～令和6年度